

2011年度地域文化演習・地域文化調査法・地域調査入門・地域環境演習・地域環境調査法のテーマ・内容・調査地域一覧(4月12日変更)

地域文化演習(3年選択必修)

教員名	記号	演習テーマ	演習内容等		曜・時限
土'谷敏治	C	都市と公共交通	来年度の卒業論文執筆に向けて、①研究してみようと考えているテーマに関連する論文講読をするとともに、卒業論文、あるいはそれに準ずる調査・研究について、②研究テーマ設定や対象地域選択、③調査計画の立案、④実際の調査実習などを行う。研究の事例として、新交通システム(日暮里・舎人ライナーなど)、乗合バス路線の簡易調査と見学を予定している。		火・5
橋詰直道	D	文献レビューと地方都市の地域調査	課題論文レビューと地域調査を中心を行う。全員が課題論文を複数編レビューし、レポートにまとめ、発表することで、今日の研究動向を把握する。夏休みは、各自のテーマに沿って地域調査を行いレポートを作成する。後期10月上旬には関東地方の小都市(候補地長野県須坂市)で2~3日地域調査を行い、聞き取り調査・土地利用調査の方法、結果の分析やまとめ方について学ぶ。12月に報告書を完成させ、班別発表を行う。		火・5

地域文化調査法(3年選択必修)

教員名	記号	調査法テーマ	調査地域	調査期間	調査内容等	曜・時限
小田匡保	C	大村市の人文地理(農業・地場産業・商業・観光・墓地など)	長崎県大村市	9月下旬(3泊4日)	前期は、調査地の資料(統計・地図など)を探して分析し、現地調査の計画を立てる。後期は、現地調査にもとづいて調査報告書の作成を行なう。	水・5
櫻井明久	D	地誌的調査法	世田谷・長崎県農村と田舎町	11月中旬	前期には世田谷(大学周辺)でグループごとに土地利用・景観調査を試み、後期には、訓練成果をもとに、長崎県あたりの地方都市とその周辺地域で現地調査を実施し、全体として調査方法を実践的に学ぶ。	水・2
須山 聡	E	奄美大島の地域性	奄美大島	7月4~8日	数人のグループを単位として地域調査を実施し、成果報告書を作成する。近年のテーマは郷土料理鶏飯、学校におけるシマウタの伝承、名瀬の都市構造、サンゴ礁の保全とダイビング観光、集落の空間構造、スポーツ合宿、バナナ栽培など。	水・4
高橋健太郎	F	農山村の生活と産業	熊本県小国町	6~7月(4泊)	前期:調査準備と調査、後期:調査結果のまとめと報告書の作成。主な調査テーマは、山間部集落における農林業と畜産業、まちづくり、都市・農村交流。「村落地理学」を履修の人は、今年度に履修のこと。	月・3

地域調査入門(2, 3, 4年選択)両専攻共通

教員名	記号	調査法テーマ	調査地域	調査期間	調査内容等	曜・時限
早船元峰	A	自然と人間との関わり合い	関東近県	未定	埼玉県見沼低地の開発の歴史と治水・治水。ビオトープの再生と管理。地場産業とツーリズム	前期 木・4
平井幸弘	C	湖沼の環境保全・自然再生活動について	長野県・諏訪湖	10月下旬~11月上旬に2泊3日	湖沼の環境保全や自然再生について、地域の人々がどのような問題意識で、具体的にどのように関わっているのか、資料・文献、および現地での聞き取りや観察を通して考える。	後期 火・2
佐藤哲夫	E	沖縄観光における那覇	那覇とその周辺	未定(10月上旬の3泊4日)	沖縄観光における那覇の位置づけについて、ハブとしての側面と観光地としての側面から考察する。観光に関する基本的文献の講読、統計や資料の分析、地図等の活用を通じて、レポートを作成する。	後期 土・1
高橋健太郎	F	農山村を知る、考える	長野県栄村と周辺地域	6月(3泊4日)	調査地域は先の地震の被災地であるため、調査テーマは流動的だが、農山村の現状を調べることに加えて、震災復興支援を考える機会も作りたい。調査に行くだけでなく、事前準備と調査レポートの作成が必須である。	前期 火・4

地域環境演習(3年選択必修)

教員名	記号	演習テーマ	演習内容等		曜・時限
高木正博	C	水文環境・水利用	研究テーマに関する文献調査・フィールドワークについての検討。結果のまとめ(レジュメの作成)と研究発表。受講者が希望するテーマ・地域においてフィールドワーク(合宿・小巡検)を行う。		金・5

地域環境調査法(3年選択必修)

教員名	記号	調査法テーマ	調査地域	調査期間	調査内容等	曜・時限
江口 卓	A	高知県の気候と生活	高知県中・東部	9月または10月・3泊4日	高知市および室戸市を中心に、気候災害および気候と生活に関する調査を行う。高知市では、水害について調査するとともに、気候と農業の関連について調査を行う。室戸市では、台風災害とその備えについて、とくに強風を中心に調査を行う。	水・4
田中 靖	C	八重山諸島の人と自然	石垣島	6月下旬を予定	調査は3泊4日の予定。班別にテーマを決めての調査実習。主要テーマはサンゴ、古環境復元、空港建設、赤土流出、津波石、離島の生活存立基盤、自然保護の取り組み、など。	水・3
平井幸弘	E	水辺(とくに湖沼、海岸)の環境問題	新潟県・佐渡島	7月中・下旬or9月下旬に3泊4日	新潟県・佐渡島の加茂湖を中心に、湖およびその周辺地域において、湖をめぐる開発や環境問題、自然再生などに関して、地形調査、水文調査、植生調査、景観調査、またしかるべき機関、団体、個人を対象に聞き取り調査や質問票調査を行う。	水・4